

令和元（2019）年度 栃木県浙江省友好交流員レポート（10月）

栃木県浙江省友好交流員 橋本和加子

中国・杭州市に来てからの1ヶ月は、長かったような短かったような、たくさんのことを経験しましたが、落ち着いていたような、充実した時間を過ごせたと思います。

滞在2ヶ月目に突入した10月1日は中国の国慶節で、7日までの1週間はお休みでした。今年は建国70周年ということもあり、北京では盛大な祭典が開催されました。私はその様子を大学の食堂や公共バスに設置されているテレビで見ました。（大学の宿泊部屋にはテレビがありません）

私はこの1週間のお休みを杭州市で過ごしました。旅行に行く人もいましたが、「どこに行っても人が多い」という言葉が多く聞かれ、せつかくの旅行で人疲れするのは勿体ないと考えた次第です。



校内の毛沢東像の前も70周年仕様に

●山登りでの文化と習慣の違い

1週間のお休みの間、個人的にした1番大きな活動は【山登り】です。

山登りと言っても、ハイキング程度の低山で、杭州を代表する観光地【西湖】の北西から南にかけて連なっている山々を1日かけて歩いたものです。

その場所は【西湖群山】という名称（百度（※1）調べ）で『国家AAAAA級風景区』（※2）に指定されています。

私が歩いたのはその内の、浙江大学の裏山的存在である老和山から、有名なお寺・靈隠寺（リンインスー）の上部にある北高峰、龍井村の上部に位置する茶畑の間を通り、五雲山（ウーユンシャン）を経て、杭州動物園の近くに到着する20kmほどのルートでした。



杭州市北西地域の様子
（数年前はこれほど建物がなかったそうです）



各所に展望台が設置されています

※1：中国で最大の検索エンジン

※2：中国観光局が定める各地の観光地の等級（Aから始まり、AAAAAが最高）

この山登りで、日本との文化・習慣の違いをいくつか体験することができました。

第1に【音楽】です。

何人もの人が、ラジオなどを携帯して大きな音で曲を流しながら歩いているのです。最近の曲から、個人的に昔の懐かしい曲（もちろん中国の曲です）まで様々な音楽を聴くことができました。とは言え、正直「静かな環境で歩きたいな・・・」と思うこともありました。

第2に【叫ぶこと】です。

日本でも「ヤッホー」とこだまを楽しむ文化があると思いますが、中国の方は「あー」「おー」と、（私にとっては）突然叫び始めるので、「何事!？」と驚くことが何度もありました。どうやらストレス発散法のひとつのようです。確かに空気のきれいな山の上で大きな声を出したら気持ちが良いのかもしれませんが。（大学構内や公園でも同様の行為が見られました）でも、やはり突然近くで大声を出されると驚きますし、遠くから聞こえてくると怪我でもしたのかと思ってしまう。これは慣れるしかないです。

第3に【準備】です。

日本では、多少の山でも装備を整えていく人が多いと思いますが、こちらでは街中と同じ服装で歩いている人が多かったです。中にはパンプスにスカートの女性もいました。そして、ビニール袋に数本のペットボトルと果物やパンなどの食べ物を入れて手持ちで歩いているのです。確かにハイキング程度の山ですが、結構なアップダウンがありそれなりの準備がいるなど感じるレベルではあります。この時、きちんとした山の格好をしている人に出会ったのは数人でした。

所変われば様々なことが違うのだなあと感じた山登りでした。



龍井村と茶畑



貴人閣から見た西湖

●環境保全

右の写真は、山登りを開始した直後に出会った場面です。祝日の朝7時過ぎに、若者たちが登山道でごみ拾いをしていました。他にも登山道のあちこちで、掃除業務をしているご年配の方たちを見かけました。この登山道には、ほとんどごみが落ちていませんでした。感謝です。



●映画の撮影に参加

浙江省の担当者から連絡をもらい、とある映画の集会に参加させていただいたところ、3日間ですが、撮影に参加することになりました。平日だったので本来は授業に出るべきでしたが、中国での映画撮影を間近で見て手伝えるなんて、2度とはない経験だと考え参加することにしました。

私の仕事は、中国語の台詞を日本語に訳し、発音と言い回しが合っているかを見るというものでした。量はそれほどなく、訳自体も難しいものはありませんでしたが、いざ撮影が始まるとシーンに合わせた言い回しが必要になったり、長い台詞を短く簡単な言葉に直さなければならなかったりと、なかなか大変でした。それでも、中国人スタッフの中で少しでもコミュニケーションをとれたことは、わずかながらも自信につながりました。

また、この経験で中国語をもっと学ばなければと思ったのは当然ですが、日本語も難しいと感じました。日本語は、ひとつの表現でも様々な言い方があり、ちょっとした違いで印象が変わってきます。その中で適した言葉を見つけ出してそれを伝えることは、とても勉強になりました。



こんなところにも行きました



撮影場所でお茶作りの工程(乾燥中)